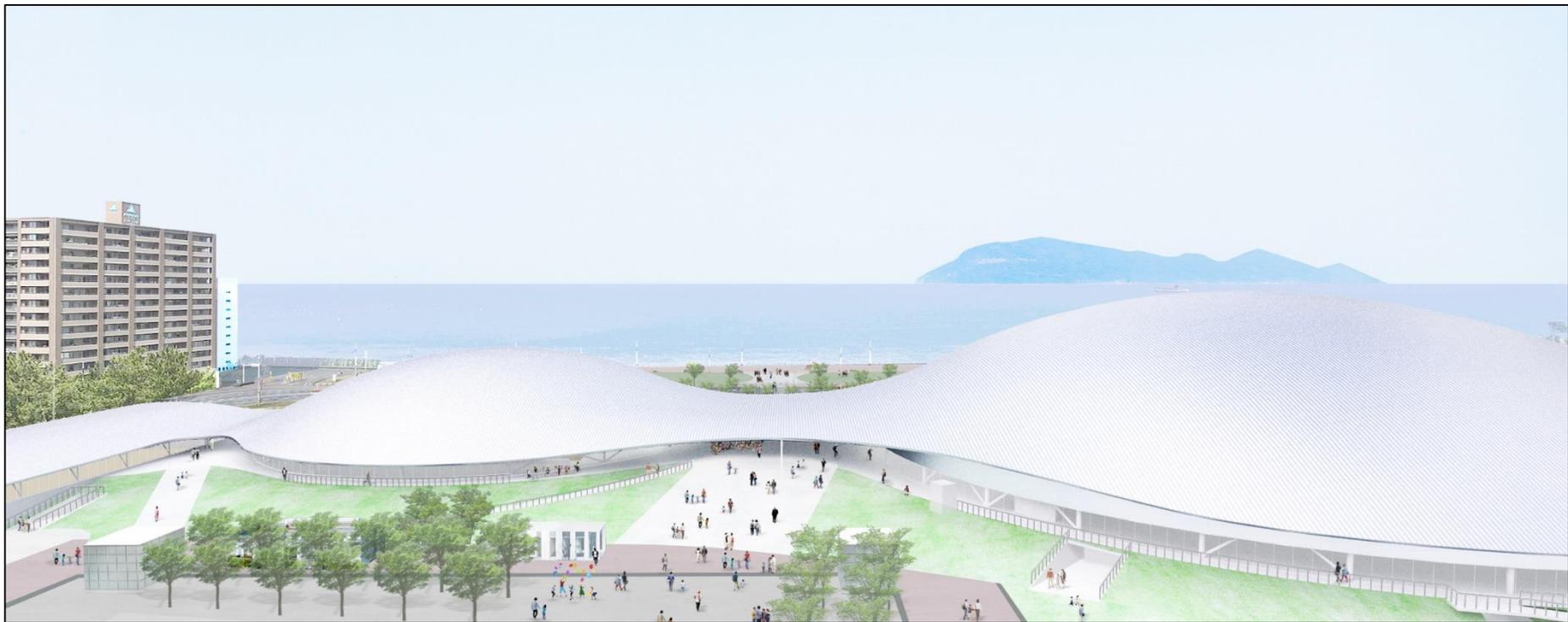


「新香川県立体育館基本設計概要」



1. 新県立体育館の特徴

- 様々な用途に利用できる**多目的アリーナ**
- 最大収容人数は**中四国最大級**の約1万人
- サンポートの環境に調和**した、利用しやすい施設



※かがわ国際会議場からの景観

1. 新県立体育館の特徴

○交流エリアを設けた**新しい発想のアリーナ**



- 観客席上部に壁を設けないことにより、アリーナ面と一体感を確保
- イベント時にはロビー・通路として利用でき、イベントに関連する催しや物販等の利用も想定
- イベントが開催されない際にも、県民がつどえる場所

1. 新県立体育館の特徴

機能の充実

～ 機能性や収益性を重視したアリーナ機能の充実（メインアリーナ）～

- コンクリート床とし、大型トラックの通行が可能
- コンサートを想定した、天井高、天井荷重を確保、ステージ設営がしやすいようキャットウォークを配置
- MICE利用を想定し、アリーナ床面や壁面にインフラ設備（電源等）を設置

利用しやすさ

～ 利用者にとって利用しやすい施設～

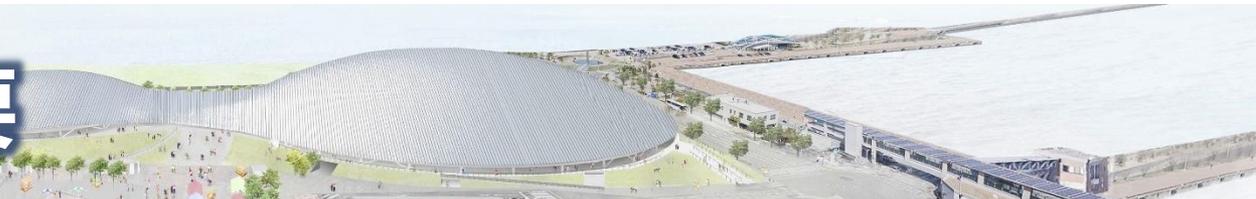
- イベント規模に応じて、メインアリーナ、サブアリーナ等の単独利用、一体利用が可能
- 観客とイベント主催者、選手、出演者等の動線を分離
- 車いす対応のエレベーターを複数配置
- メインアリーナ内には車いす席を28席確保。通路幅もスムーズな通行ができるよう3m確保
- 多目的トイレ、キッズルーム、授乳室を設置

周辺への配慮

～ 周辺環境への配慮～

- サンポート高松を訪れた人々が気軽に立ち寄れる、開かれた公共空間
- 建物の高さを低く抑え、サンポートの景観に調和
- 騒音対策については、環境基準内に抑えることはもちろん、住宅が隣接した西側については、より厳しい住宅地の基準を充足

2. 各施設概要



(1) メインアリーナ

○全国大会や国際大会など**大規模なスポーツ競技大会の開催**が可能



○ 対象種目

バレーボール 4面
バスケットボール 3面
ハンドボール 2面

※その他、室内で実施される主要な競技に対応

○ 固定席 5,024席

(最大収容人数 10,000人)

2. 各施設概要

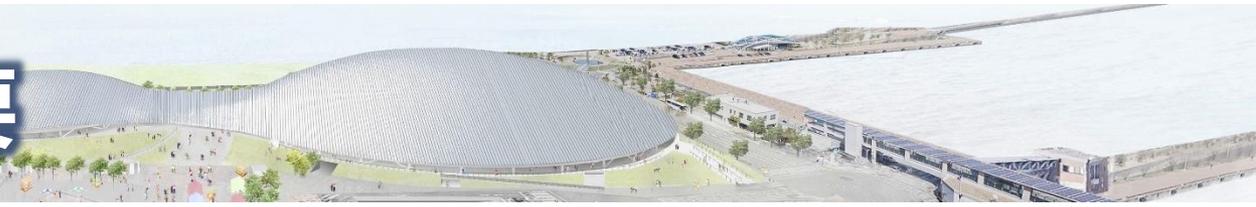


(1) メインアリーナ

○トップアーティストによる**コンサートアリーナツアー**、**MICE**などに利用可能



2. 各施設概要



(1) メインアリーナ

○各イベントレイアウト例

コンサート (エンドステージ)



収容人数 約 7,300人

プロスポーツ (バスケットボール)



収容人数 約 8,700人

ボクシング



収容人数 約 10,000人

2. 各施設概要

(2) サブアリーナ

- 県大会など**中規模なスポーツ競技大会、日常のスポーツ活動の場**として利用
- 公式競技が開催できる**天井高、照度を確保**

○ 対象種目

バレーボール 2面
バスケットボール 2面
ハンドボール 1面

○ 固定席 1, 032席

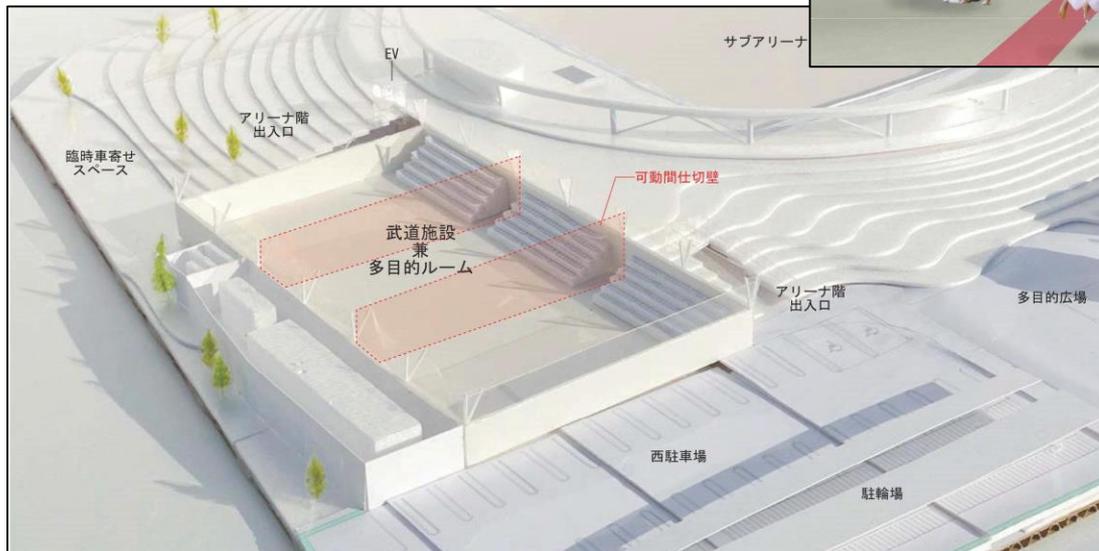


2. 各施設概要

(3) 武道施設兼多目的ルーム

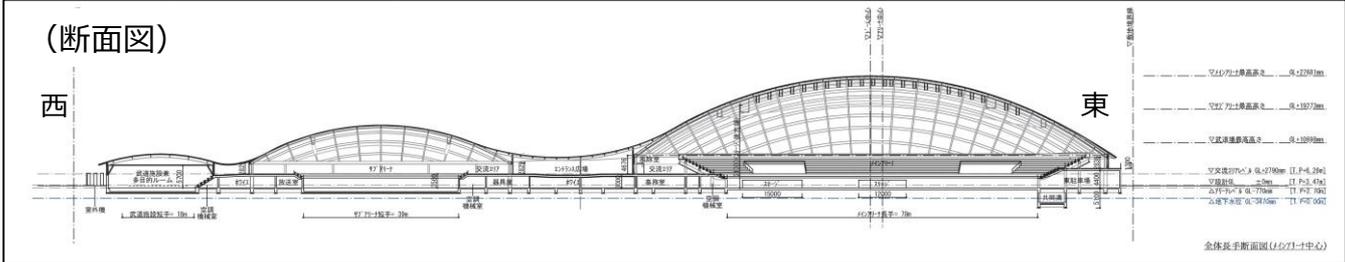
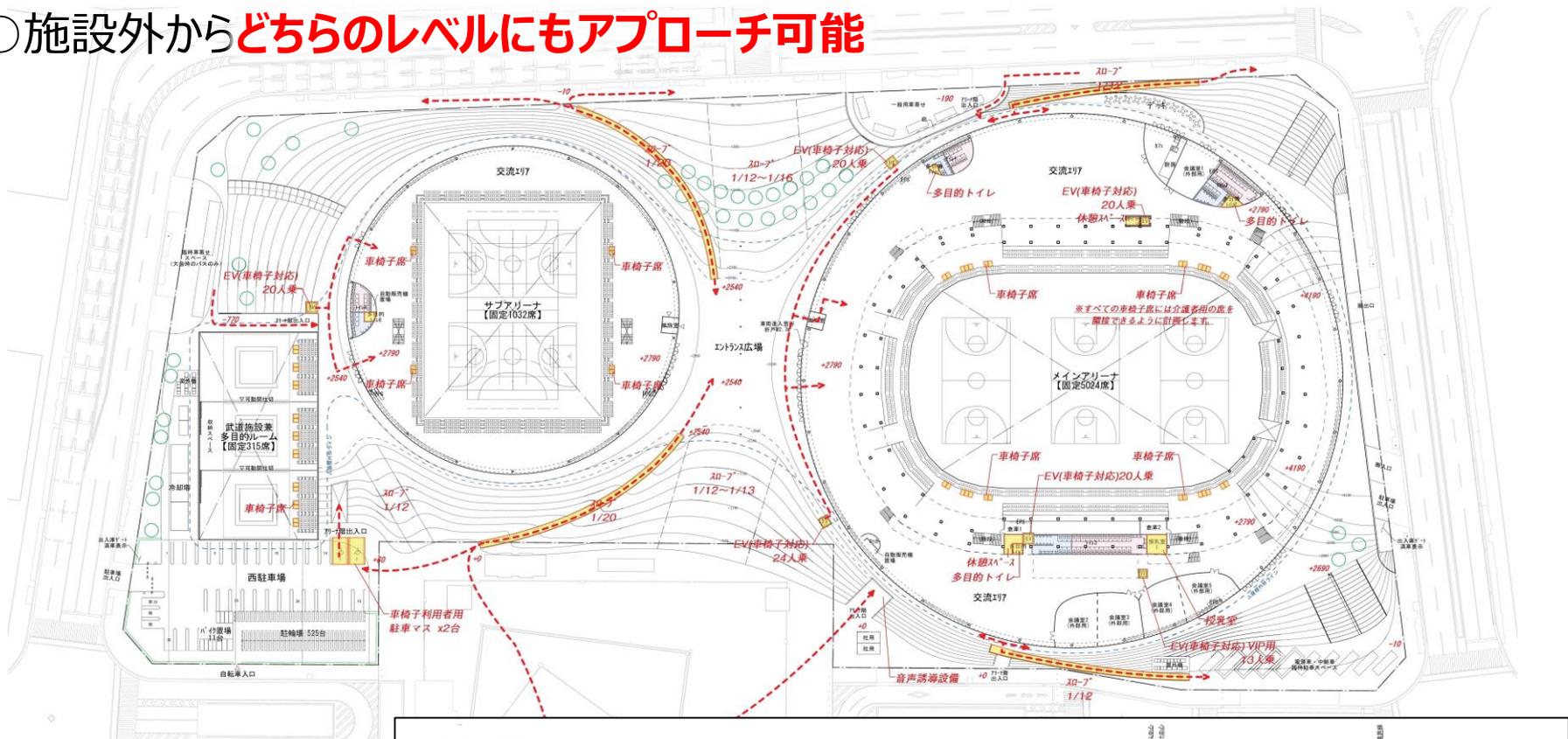
- **柔道、剣道等の大会の開催、**
少人数でのスポーツ活動や**文化活動**で利用可能

- **対象種目**
柔道（または剣道）3面
- **固定席** 315席



3. 平面・立面計画

- 1階「アリーナレベル」と2階「交流エリアレベル」で構成
- 施設外から**どちらのレベルにもアプローチ可能**



4. 建築概要



規模	地上2階、地下1階	
建築面積	20,461㎡	
延床面積	30,019㎡（東駐車場含む）	
構造形式	鉄骨造、鉄筋コンクリート造／杭基礎	
施設構成	メインアリーナ	固定席5,024席
	サブアリーナ	固定席1,032席
	武道施設兼多目的ルーム	固定席315席
駐車場	一般車	100台
	車椅子利用者等	4台 他
駐輪場	自転車・自動二輪車	525台・11台
建設工事	令和3年度～令和5年度（工期32ヵ月）	
建設工事費	18,186百万円（税込み）	